

## 【港北区】令和 7 年第 1 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 7 年 2 月 3 日 午前 11 時 00 分 ～ 午後 12 時 00 分
場 所	港北区役所 4 階 1 号・2 号会議室
出席者	<p>【座 長】佐藤祐文議員</p> <p>【議員 : 7 名】福地茂議員、大山しょうじ議員、白井正子議員、かざまあさみ議員、酒井誠議員、望月康弘議員、大野トモイ議員</p> <p>【港北区 : 23 名】竹下幸紀区長、卯都木隆幸副区長、富田千秋福祉保健センター長、小野哲也福祉保健センター担当部長、澤木勉港北土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 7 年度港北区予算編成の考え方について</p> <p>2 令和 7 年度個性ある区づくり推進費予算（案）について</p>
発言の旨	<p>福地議員：</p> <p>区庁舎駐車場は混雑により区役所利用者が駐車できない場合もあるが、これは駐車場利用料金が近隣に比べて安価なことも理由の一つとして考えられる。区役所の駐車場料金が近隣より安いと、民間事業にも影響がある。料金は近隣の相場に合わせ、区役所利用者については減免枠を増やしていただきたい。</p> <p>また、以前、横浜市港北区社会福祉協議会の入居するビルに政治活動のポスターが多数貼ってあったが、公共性の高い場として不適切と思うので、区役所でも今後の動向について注視してほしい。</p> <p>吉田総務課長：</p> <p>区役所の駐車場料金が近隣より安価になりすぎないように、局に伝えていく。</p> <p>大野議員：</p> <p>地域子育てサポート事業の「にんしん・あんしん・つながり」事業について、区内で実施する両親教室等の妊娠期プログラムの情報を一覧にした</p>

リーフレットを拝見したい。

丸山こども家庭支援課長：

リーフレットは区独自に作成しているもので、母子手帳交付時や赤ちゃん訪問の際にお渡ししている。庁内にも配架し、必要な方に届くようにしている。後ほど現物をお渡しする。

大野議員：

乳幼児期の居場所となる「親と子のつどいの広場」の体験券について、配付枚数は減っているが、利用件数は伸びており、素晴らしいと思う。より多くの方に地域子育て支援拠点や「広場」を利用していただけると、引き続き取組をお願いしたい。

丸山こども家庭支援課長：

少し古い調査だが、地域子育て支援拠点については約8割の方が知っている一方、親と子のつどいの広場の認知度は5割程度だった。親と子のつどいの広場が認知されていないことも、居場所が少ないとのご意見の一因と考えられる。

親と子のつどいの広場の利用件数は伸びているが、伸び率はあまり大きくないため、7年度は体験券の内容を見直し、広場の利用イメージを持つような体験プログラムを実施していく。

大野議員：

全体を見ると、乳幼児期の親子に対する取組は多いが、学齢期の子どもに対する施策がないと思う。

来年度からの横浜市における子どもに関する大きな状況の変化は、こども・子育て基本条例が始まることだと考えている。子どもの意見を聞く環境と機会を作り、それを施策に反映することが横浜市に求められているが、そうした事業があまりなく、残念に思う。

丸山こども家庭支援課長：

子どもの意見を聞く取組の一つとして、来年度設置見込みのこども家庭センターにおいて、支援の必要な方に対するサポートプランの作成時に、子どもを含めた当事者の思いを聞き、計画を作っていくことがある。

大野議員：

困難な状況にある子どもに限らず、子ども全体の意見を聞くことが、この条例で求められている。例えば、こども向け防災啓発資料の作成や親子防災デイキャンプの実施、ひっとプラン港北の小・中学校への出前講座などにおいて、子どもの意見を聞き、それを施策に反映させることが条例の実践だと思うので、取り組んでほしい。

また、ハイリスクの子どもへの支援では、寄り添い型生活支援事業や不登校支援等で子ども自身がどうなりたいか等を聞き、支援のあり方などの施策に反映させてほしい。

酒井議員：

地域防災拠点へのトイレスターターキットの配備だが、また備蓄品が増えることになる。防災倉庫の整理支援もあるが、防災倉庫の容積には限りがあるため、対策を考えるべきでないか。

吉田総務課長：

防災倉庫の狭隘化は難しい課題と捉えている。今年度から防災倉庫の整理整頓支援を始めているので、その様子を見たい。

トイレスターターキットについては、能登半島地震を踏まえ、地域防災拠点の立ち上げ時に、まず初めにトイレを使うことができるよう配備するもの。防災倉庫のスペース問題も踏まえながら、新たな施策について考えていきたい。

酒井議員：

防災倉庫のどこに何があるのか分からなくなる恐れもある。整理整頓は良いが、物品が多いと収まりきらない物もあると思うので、各地域防災拠点と話し合いながら進めていただきたい。

GREEN×EXPO 2027 の開催がいよいよ再来年だが、港北区を含む北部エリアは 18 区の中でも認知度が低いようなので、区民にもっと周知していただきたい。また、TICAD 9 が今年 8 月に開催されるので、区内の学校とアフリカとの交流なども含めて広報をしてほしい。

柏崎区政推進課長：

GREEN×EXPO 2027 に向けて、まだまだ広報が必要と考えている。港北ガーデンシティ推進事業の港北育苗プロジェクトでは、小学校に配布した苗を子どもたちが育て、近隣の商店街や商業施設に植え替えて PR をしてい

く。また、GREEN×EXPO 2027 の 2 年前イベントとして、市立小学校の卒業式と重なる 3 月 19 日に、子どもたちが育てた苗を近隣の商業施設に植え替えて卒業式を祝うとともに、GREEN×EXPO 2027 の PR を進めていく。

また、TICAD9 に向けて、今年度のふるさと港北ふれあい祭りで、ジャンベの演奏や衣装の試着などの PR を実施した。引き続き、学校と連携して進めていきたい。

酒井議員：

港北図書館が大規模改修、あるいは建て替えになる見込みだが、区役所もしっかりと関わって良いものをつくってほしい。

日吉駅前の一方通行化と喫煙禁止地区への指定について、なるべく早く、きちんと住民に周知をしながら進めてほしい。

柏崎区政推進課長：

港北区は人口が多く、図書館の機能の更なる充実が必要と考えている。区からも教育委員会事務局に働きかけ、連携して進めていく。

日吉駅西口の一方通行化については、昨年末にアンケートを実施して 1,400 件弱の意見を頂き、おおむね賛同をいただいている状況である。中には、送迎車での渋滞の改善を望む声や、子どもの送迎をしている方からはどうなるか不安との声も頂いているが、歩行者の安全を第一に考え、喫煙禁止地区への指定とともに、力強く進めてまいりたい。

白井議員：

新規に港北脱炭素みらい推進事業が始まるということで、期待したい。区民意識調査でも学齢期の子どもがいる層で避難所の認知度が高く、区民の行動変容を促していくときに、その層に働きかけるということは非常に有効であると思う。具体的な事業内容について伺いたい。

柏崎区政推進課長：

子どものころから脱炭素行動を当たり前のもので親しんでいくことが、脱炭素社会を実現していく上で大切と考えている。また、子どもが家庭に持ち帰り、家族で話し合ってもらい、親世代にも波及していくことを目的としている。具体的には、最新技術を持った区内企業などと連携し、脱炭素について親子で楽しく体験する事業を考えている。

また、今年度の 3 月 28 日に、パナソニック、エネオスと連携したプレイイベントを実施し、GREEN×EXPO 2027 の 2 年前イベントとして周知してい

く。啓発動画の作成については、例えば区内の様々なスポーツ団体等と協力するなどし、子どもたちに浸透するような周知啓発を進めていく。

こうした機会は、学齢期の子どもたちの意見を取り入れる良い機会と捉えている。港北オープンファクトリー事業や港北水と緑の学校事業でも、子どもたちの意見を聞き、まちづくりに参加してもらい、ゆくゆくはまちづくりの担い手となるように進めていきたい。

白井議員：

行政が率先して脱炭素の実現に向けて取り組むことは大事と思う。区庁舎への再生可能エネルギーの導入の可能性を検討するとあるが、具体的に伺いたい。

柏崎区政推進課長：

現在、区庁舎では太陽光発電や非常用電源を含めて対応しているが、民間企業では様々な新しい技術、例えばペロブスカイトを使った設置しやすい製品等が出てきており、これらの区庁舎への設置可能性について検討する。

望月議員：

資料に記載のある地域防災拠点の段ボールベッドからワンタッチ式ベッドへの切り替えは、港北区独自の予算で実施するのか、総務局の予算で実施するのか伺いたい。

吉田総務課長：

区独自の予算で配備するもので、総務局で配備するものとは別のものになる。

望月議員：

総務局と区で別々にベッドを配備する必要があるのか。

吉田総務課長：

総務局で次年度予算案に計上されたベッドについては詳細が未確定の状況だが、港北区では従来の計画に沿って配備を進めていく。

望月議員：

無駄のないように進めていただきたい。

トレッサ横浜付近の土地が物流拠点として整備されるとのことだが、渋滞が心配されている。状況を伺いたい。

柏崎区政推進課長：

港北警察署にお伺いし相談しているところ、交通量調査では基準の数値を下回っているとのことである。しかし、元々道幅が狭く、渋滞が多い状況であり、大型車両が通ることについての心配の声も頂いている。今後も港北警察署と連携し、より良い状況に改善していきたい。

かざま議員：

菊名駅周辺と日吉駅周辺に駐輪場が足りないとの声を聞いている。駐輪場の台数が今年度増えているのか、伺いたい。

安達地域振興課長：

日吉駅周辺については用地確保等の課題があり、新たに駐輪場を整備することは困難な状況と道路局から聞いているが、区としても、既存駐輪場の利用区画の見直しなど、施設の有効活用を引き続き局へ要望している。

菊名駅については、手元に資料がないため、回答できない。

かざま議員：

ハード面での整備が難しいことは、従前から伺っている。ソフト面で改善していただけるということなので、今後進捗があれば報告してほしい。

大山議員：

こども向け防災啓発資料が完成したら、共有してほしい。郵便ポストへの防災情報の掲出はステッカーの印刷費用のみでできるのか、また、掲出するQRコードはどのページにリンクするのか、伺いたい。

吉田総務課長：

こども向け防災啓発資料が完成したら、お知らせする。郵便ポストへの防災情報掲出は、区でステッカーを作成し、貼付作業を郵便局で行う。QRコードについては、港北区の情報ポータルサイトにリンクし、各自が興味を持つ情報にアクセスできるように考えているが、具体的にはこれから詰めていく。

	<p>大山議員： 事例のステッカーは少し目立ちにくいと思うので、もう少し目立つように良いものを作っていただきたい。</p> <p>吉田総務課長： 郵便局からは、もう少し大きいものでも構わないと言われている。郵便局と相談しながら良いものを作っていきたい。</p>
備 考	